

平成 30 年度 修道館杯争奪高校生柔道私学大会要項

1. 趣 旨 武道を通じて高校生の健全育成と競技力の向上を目的としました、回を重ねることで武道の振興と発展を企図する。
2. 主 催 大阪市立修道館、(公財)大阪武道振興協会
3. 後 援 大阪市・大阪市教育委員会、大阪府柔道連盟
4. 日 時 平成 30 年 9 月 17 日 (月・祝)
午前 8 時 30 開場・受付 午前 9 時計量 午前 10 時開会式
5. 会 場 大阪市立修道館 〒540 - 0002 大阪市中央区大阪城 2 - 1
6. 参加資格
 - (1) 大阪府下の私立高校在籍者とする。
 - (2) 学年は 1 年生 ～ 2 年生とする。
 - (3) 参加選手は、参加することを学校長より承認された者であること。
 - (4) 皮膚真菌症(トングランス感染症)に感染していない者とする。
7. 試合種目
 - (1) 男子団体戦
 - イ. 1 チームの人員は、選手 5 名 (先鋒・次鋒・中堅・副将・大将)、補欠 2 名計 7 名とする。
 - ロ. 選手配列は、体重に関係なく自由とし、選手がいないところは空けること。後ろ詰めはなし。
 - ハ. 出場は各学校につき、1 チームまでとする。
 - (2) 女子団体戦
 - イ. 1 チームの人員は、選手 3 名(先鋒・中堅・大将)、補欠 1 名の計 4 名とする。
 - ロ. 選手配列は、体重に関係なく自由とし、選手がいないところは空けること。後ろ詰めはなし。
 - ハ. 出場は各学校につき、1 チームまでとする。
 - (3) 男子個人戦
 - イ. 73kg 以下級と無差別級の 2 階級とする。
 - ロ. 出場は各学校につき、各階級 2 名までとする。
 - ハ. 個人戦と団体戦での重複の出場は認める。
 - (4) 女子個人戦
 - イ. 57kg 以下級と無差別級の 2 階級とする。
 - ロ. 出場は各学校につき、各階級 2 名までとする。
 - ハ. 個人戦と団体戦での重複の出場は認める。

8. 試合方法

(1) 審判規定は、団体・個人と国際柔道連盟試合審判規定で行う。

(2) 団体試合

イ. トーナメント点取り法による。※参加校が少ない場合、リーグ戦を行う。

ロ. 試合時間は、3分間とする。

ハ. 判定基準は、「技有」又は「僅差」以上とする。※僅差は指導差2以上とする。

ニ. 勝敗が同数の場合は、内容によってチームの勝敗を判定する。

ホ. 内容が同点の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を4分間行い、勝敗が決まらない場合は、無制限の延長戦（ゴールデンスコア）を行い指導差がつけば終了とする。但し、リーグ戦においては「引き分け」とする。

ヘ. 代表戦の判定基準は、個人戦に準じて行う。

ト. リーグ戦の順位決定は次による。

(ア) リーグ戦におけるチームの勝敗は次による。

a. 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

b. aで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

c. bで同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

d. cで同等の場合は、引き分けとする。

(イ) リーグ戦の順位決定は次による。

a. 3勝・2勝1分・2勝1敗・1勝2分・1勝1分1敗・1勝2敗・3分・2分1敗・1分2敗・3敗の順とする。

b. aで同等の場合は、リーグ戦を通じ勝ち数の多いチームを上位とする。

c. bで勝ち数の同じ場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを上位とする。

d. cで同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを上位とする。

e. dで同等の場合は、負け数の少ないチームを上位とする。

f. eで同等の場合は、「一本」による負け数の少ないチームを上位とする。

g. fで同等の場合は、「技有」による負け数の少ないチームを上位とする。

h. gで同等の場合は、代表戦を行い得点差がない場合はゴールデンスコアにより決定する。

(3) 個人試合

イ. トーナメント法による。※人数が少なければ、リーグ戦を行う場合もある。

ロ. 試合時間は3分間とする。

ハ. 判定基準は、「技有」又は「僅差」以上とする。※僅差は指導差2以上とする。

ニ. 技によるスコアが同等の場合は、無制限の延長戦（ゴールデンスコア）を行い指導差がつけば終了とする。

ホ. 1回戦から全てゴールデンスコア（時間無制限）を行う。

9. 参加上の注意

(1) 選手変更

イ. 団体戦申込後、選手が何らかの理由により出場できない場合、1名に限り選手

の変更を認める。(登録選手変更届を大会当日受付時に、提出すること。)

ロ. 変更後の配列については【7. (1) ロ、(2) ロ】通りとする。

ハ. 正選手から外れた選手については、今大会には出場できない。

(選手の変更は当日受付にて扱う。但し、受付終了後の変更は認めない。)

ニ. 個人戦においては、選手変更を認めず、棄権とする。

(2) 審判員について

イ. 各学校、協力審判員、1~2名の派遣をお願いします。

ロ. 審判員の服装はグレー系のズボンに白のYシャツとします。

ハ. 審判員の昼食は主催者が用意します。

(3) 進行について

イ. 先に団体戦を行い、団体戦終了後に個人戦を行う。

(4) 書類について

イ. 申込書類不備には十分注意すること。(大会参加不可となる場合もある)

ロ. 掲示用選手表を作成し、大会当日受付時に提出すること。

▽掲示用選手表 (男子団体戦用) (縦 27.5cm, 横 79cm)

79cm					
○ ○ 高	先	次	中	副	大
27.5cm					

(模造紙 1/4 片の大きさ)

※申込書の配列通りであること。

▽掲示用選手表 (女子団体戦用) (縦 27.5cm, 横 79cm)

79cm			
○ ○ 高	先	中	大
27.5cm			

(模造紙 1/4 片の大きさ)

※申込書の配列通りであること。

(5) 付き添いについて

引率責任者(顧問)のいない学校は参加を認めない。受付は、引率責任者(顧問)が申し出る。引率責任者(顧問)は、当該校の職員であること。

(6) その他

イ. 開会式に遅刻したチーム及び選手は上記各項の条件に適格であっても大会出場

を認めない場合がある。

ロ. 大会中の負傷又は、疾病に対し応急処置は行うが、その責任は一切負わない。

ハ. 道場内での飲食は、厳禁とする。

ニ. 靴袋を用意すること。

ホ. 貴重品は、各自で保管すること。

10. 申込方法

(1) 申込み期限 平成 30 年 8 月 12 日 (日)

(2) 申込み方法 ※メールでの申込みといたします。

イ. 申込用紙を修道館ホームページ <http://www.osaka-sp.jp/syudoukan> から下記の要領でダウンロードする。

- 1: 画面のメニュー『行事予定』をクリック
- 2: 画面のメニューに出てきた『修道館杯・錬成大会』をクリック
- 3: 関連資料をクリックしダウンロードする

ロ. 必要事項を入力する。

ハ. 添付ファイルで syudoukan-judo@shinko-sports.com に送付する。

※メールの件名 (タイトル) に

「修道館杯争奪高校生柔道私学大会申込書の送付 (学校名)」

を必ず入れること。

ニ. 修道館からの返信メールがきたら受付完了。

※申込み後、一週間たっても返信メールがない場合は、電話で問い合わせてください。

(3) 問い合わせ先

大阪市立修道館 森 篤

TEL 06 - 6941 - 1523 FAX06 - 6941 - 4189

※メールでの問い合わせ等は一切受け付けません。

11. 脳しんとう対応について

(1) 大会 1 か月以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

(2) 大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可能とする。(なお、至急、専門医 (脳神経外科) の精査を受けること。)

(3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

※車両乗入れの禁止

大阪城公園内の車両乗り入れが禁止になっております、各学校に通行証を発行することが出来ません。大阪城公園周辺の有料駐車場を利用されるか、公共の交通機関をご利用ください。